

令和7年度

愛知県ユネスコスクール

# 指導者研修会

## 報告書



令和8年2月

愛知教育大学

## 目 次

はじめに .....	I
1. 研修会 次第 .....	II
2. 実践発表 資料	
・ 愛知教育大学附属名古屋小学校 「本校における ESD 活動について ～日常の授業実践から～」	山田 泰弘 氏 ..... 1
・ 金沢市教育委員会 「愛知県ユネスコスクール指導者研修会 実践事例発表 金沢市の取組 各学校の取組」	榎木 洋平 氏 ..... 6
・ 愛知教育大学附属高等学校 「ユネスコスクール指導者研修会 実践報告 サスティナ部の取り組み紹介」	山本 真生 氏 .....17
・ 京都府立嵯峨野高等学校 「嵯峨野高校の ESD 実践 未来をつくる小さな行動」	岡本 領子 氏 .....23

はじめに

「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」は、ユネスコスクール加盟支援大学である愛知教育大学が主催となって、愛知県内のユネスコスクール活動の啓発や支援、加盟校相互の連携構築をはかるとともに、未加盟校がESD活動に取り組むきっかけづくりを行うことを目的として、10年以上にわたり開催してきています。本研修会は、愛知県内のユネスコスクール加盟校及びESD、SDGs、さらには探究に関わる教育活動に興味・関心をもつ先生方を対象として、ユネスコスクールである本学の附属学校や県外のユネスコスクール加盟校による実践活動事例の報告や、登壇者と参加者によるESD活動に関する意見交流を通して、今後の活動発展を願って計画しています。今回は、令和7年度の本研修会の報告書をお届けします。

本年度の研修会も、愛知県教育委員会主催の「ESD研修」と同日開催とし、両研修に参加することで、さまざまなESDの学びが得られるようにと企画しました。本年度の研修会では、金沢市教育委員会と京都府立嵯峨野高校の先生、本学附属学校教員をお招きし、それぞれの学校・地域でのESD活動の事例を紹介いただきました。実践事例の内容については、本報告書にまとめておりますので、ぜひ、ご覧いただければと存じます。いずれの学校も児童・生徒の成長を願った教育活動を学校ぐるみで展開されています。

本年度は、過去例に見ない夏の猛暑や各所での地震を始めとする自然災害が頻発し、将来に対する備えがますます必要となってきています。学習指導要領の前文にみられるように「持続可能な社会の担い手」を育成するため、学校現場ではさまざまな取り組みが実施され、児童生徒の教育が展開されています。ESDを通じた教育の実践は、子どもたちの学びを単なる学習ではなく、将来を生き抜く力、また、自身のキャリア教育への展望を切り開く道につなげていくものです。ユネスコスクールによるますますのESD活動の展開はもとより、未加盟校においても、ESDを目指した教育が展開されていくことを期待しています。

本報告書が、ユネスコスクール加盟校の先生方、未加盟校の先生方の今後のESD教育の一助になれば、幸いです。

2026年2月吉日

愛知教育大学

地域連携センター長 大鹿聖公

## 愛知県ユネスコスクール指導者研修会 次第

1. 日時 令和7年8月26日(火) 10:00 ~ 12:00

2. 会場 愛知県生涯学習推進センター 研修室 A  
(愛知県名古屋市中村区竹橋町36-31)

3. 日程

全体司会 愛知教育大学 財務・学術部長 北川 雅崇

10:00~10:05 開会行事

主催者挨拶 愛知教育大学 連携・附属学校担当理事 杉浦 慶一郎

10:05~11:05 ユネスコスクール実践事例発表(各15分)(敬称略)

・愛知教育大学附属名古屋小学校 山田 泰弘

・金沢市教育委員会 榎木 洋平

・愛知教育大学附属高等学校 山本 真生

・京都府立嵯峨野高等学校 岡本 領子

11:15~11:55 事例発表者によるディスカッション

「普段の授業をどのようにして ESD として展開していくか」

司会 愛知教育大学 地域連携センター副センター長  
岩田 吉生

11:55~12:00 閉会行事

総括 愛知教育大学 地域連携センター長 大鹿 聖公

愛知県ユネスコスクール指導者研修会 2025年8月26日（火）

# 本校におけるESD活動について ～ 日常の授業実践から～

愛知教育大学附属名古屋小学校 山田泰弘

**基本理念**  
子ども、先生、共同研究者、保護者など、関わる人みんながわくわくする学びを目指します。

**使命**  
「ついでにやってみたくなる」「勝手にやってみたくなる」「あっと知りたい」「夢中になった」「発見があった」など、子どもも先生も、学びへの好奇心や喜びを共通できる授業をつくり出します。

**行動基準**  
**和歌山同**  
大学の共同研究者、地域の方々、保護者、公立校の先生と協同して実践をします。

**学びやってみる**  
デザイン思考を基に、日々授業改善を繰り返します。

**つくる**  
子どもたちが自ら学びをつくるための授業をデザインします。

**真剣に議論**

**チャレンジ授業**

**デザイン思考での授業づくり**

● **デザイン思考**とは  
「デザイン思考」とは、1960年代に提唱されたもので、現在では五つの要素に整理されている「課題解決のための思考」です。dschool (Hasso-Plattner Institute of Design at Stanford) が提案した5段階デザイン思考モデルを、本校の授業づくりに照らし合わせて、以下のようにまとめました。

共感 … 児童の目線に立って、どのような課題をもっているのか理解する。  
明確化 … 理解したことを基に課題を絞り込み、めざす児童の姿をイメージする。  
創造 … ささまざまな視点で、課題解決の見通しや授業のアイデアを創り出す。  
試作 … アイデアに基づいて授業をいくつも試作する。  
テスト … 試作した授業を実践し、授業改善を進める。

共感 → 明確化 → 創造 → 試作 → テスト

## 日常の授業から



社会4年  
「ごみ どうしよう」



理科5年  
「流れる水のはたらきと  
土地の変化」



道徳6年  
「わたしのふつうと  
あなたのふつう」



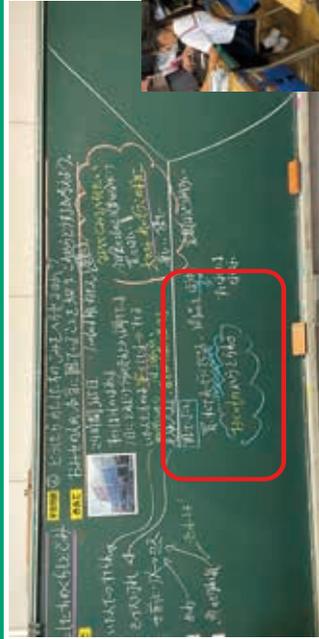
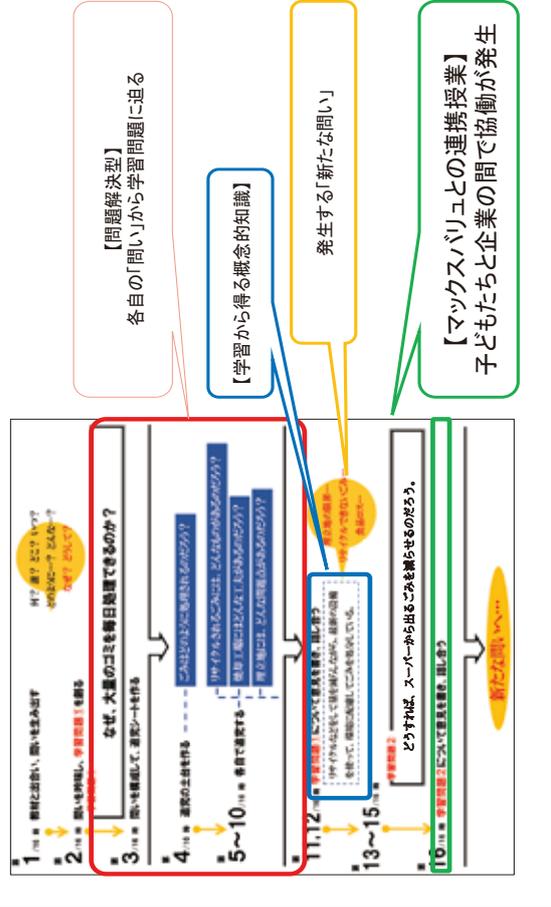
## 社会 「ごみ、どうしよう」 (4年)

ごみの処理やリサイクルの方法、焼却工場や埋め立て地の工夫や現状を知り、ごみについて正しい知識を得たり、社会の一員としてできることを考えたりする。

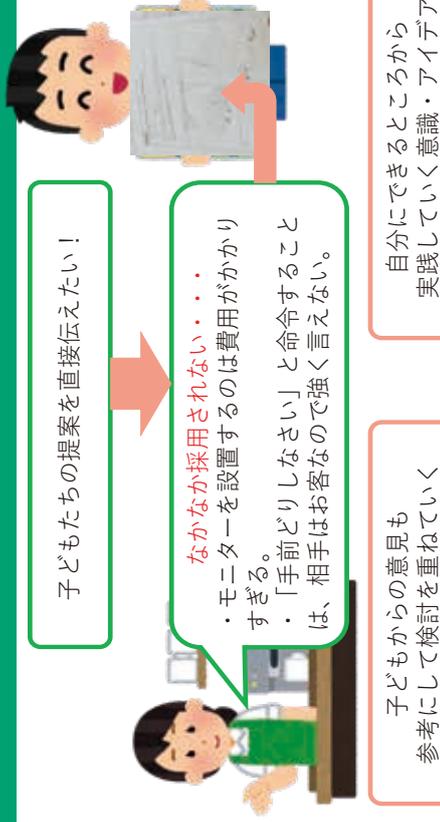
ゲストとして

「マックスバリュ」との連携授業を実施

## 社会 「ごみ、どうしよう」 (4年)



## 社会 「ごみ、どうしよう」 (4年)



子どもたちの提案を直接伝えたい!

なかなか採用されない・・・  
・モニターを設置するのは費用がかかりすぎる。  
・「手前どりしなさい」と命令することは、相手はお客なので強く言えない。

子どもからの意見も参考にして検討を重ねていく

自分のできるところから実践していく意識・アイデア

## 社会 「ごみ、どうしよう」 (4年)



手前どりをアピールするポスターを提案

実現可能な提案へ

## 理科 「流れる水のはたらきと土地の変化」 (5年)

砂場で実際の川を再現するモデル実験を通して、流れる水のはたらき（侵食・運搬・堆積）について理解する。

**防災：減災の観点で**  
身の回りにある洪水を防ぐための対策について知る。

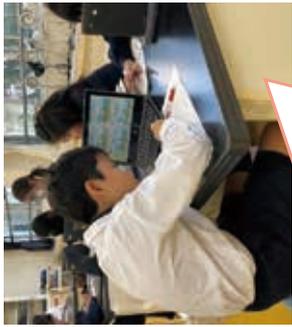
## 理科 「流れる水のはたらきと土地の変化」 (5年)



水の量が増えると削られ方が大きくなったり、下に積もる土の量が増えたりするね。

大雨が降ったら？

## 理科 「流れる水のはたらきと土地の変化」 (5年)



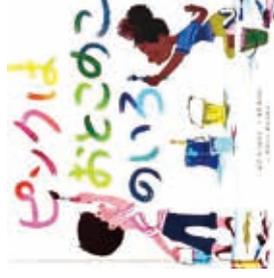
だから、教科書の川の写真は、カーブの外側にブロックが置いてあったんだ!



身の回りの水害対策について理解する

## 道徳 「わたしのふつうとあなたのふつう」 (6年)

ジェンダーに関する問題をテーマにした議論を通して、多様な考え方があふれることに気付かせる。その上で、偏見にとらわれることなく、多様性を認めようとする道徳的実践を意欲と態度を育てる。



作: ロブ・ゲルマン  
 監: イヴァ・ガパン  
 訳: ロビン・カデン  
 発行元: KADOKAWA

## 道徳 「わたしのふつうとあなたのふつう」 (6年)

① 「ピンクはおとこのこのいろ」は、「ふつう」だと思いますか?



世の中的には、もう「ふつう」のことなんじゃないかな。

好きな色は人それぞれ、自由だと思う

まだ他人事

## 道徳 「わたしのふつうとあなたのふつう」 (6年)

② もし、あなたが男の子でピンク色を好きだと、みんなの前で言えますか?

みんなの前では言いづらいかも...世の中的には、「ふつう」になってきたけど、まだきれいな事で、受け入れられない気がする。



少しずつ自分事へ

## 道徳 「わたしのふつうとあなたのふつう」 (6年)

③ 「徒競走を男女混合で走ること」は、「ふつう」だと思いませんか？



走力が近い人と走っているから、勝負は平等だし、「ふつう」のことだと思う。

でも、女子に負けたら、なんだか恥ずかしい気がする。

## 道徳 「わたしのふつうとあなたのふつう」 (6年)

④ 「自分のふつう」と「みんなのふつう」と、どのように付き合っていきますか？



人それぞれ「ふつう」は違うんだね。

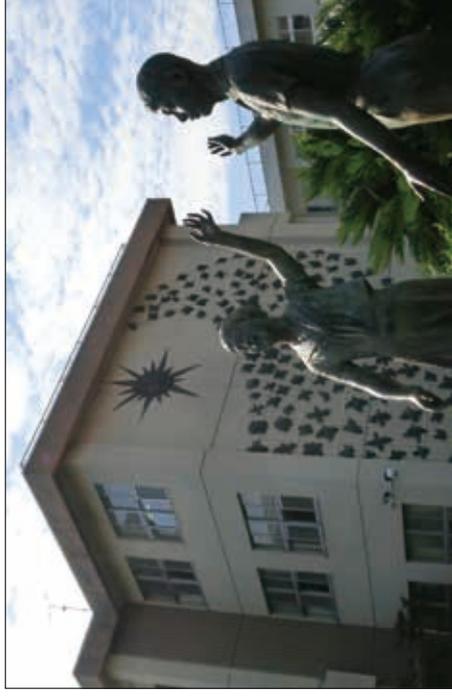
自分の考えが当たり前じゃなくて、人によって違う「ふつう」を受け止めていかなければいけないね。

## 発表の最後に・・・

「SDGsの授業だ！」 ← (通常の学習とは**別枠**)

「この学習は、SDGsのどの目標に関わるのかな？」  
(**日常の学習**から**地球市民**としての成長を意識)

「多くの学校でそれが当たり前になる」



ご清聴ありがとうございました

## 愛知県ユネスコスクール指導者研修会 実践事例発表



R7.8.26

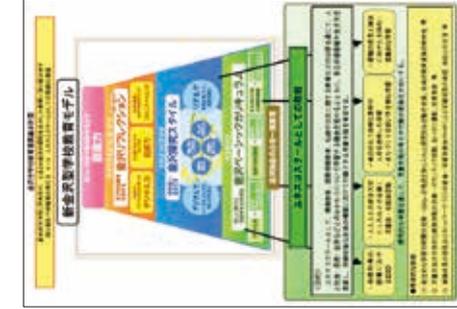


金沢市教育委員会  
学校指導課

### 内容

- 1 金沢市の取組
- 2 各学校の取組
- 3 今後に向けて

### 金沢市の取組



#### 具体的な取組

- ①「総合的な学習の時間」の充実
  - ・SDGsの視点を取り入れた探求的な活動
  - ・地域の教育資源の教材化
- ②児童生徒の主体的な活動の充実
  - ・体験活動、学習発表の充実
- ③実践の発信及びネットワークづくり
  - ・学習成果の発信
  - ・他校との交流

### 金沢市の取組

#### 実践の発信及びネットワークづくり

- SDGs子どもフォーラム in Kanazawa
- ・日時 令和7年2月8日(土)  
13:00~15:30
  - ・参加者 代表2名  
小学校は5・6年生、中学校は1・2年生
  - ・日程

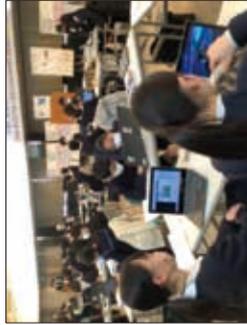
12:30	受付	13:00	開会
13:05	プレゼン発表会	14:00	移動
14:05	休憩	14:40	シンポジウム
15:30	閉会		

## 金沢市の取組

### 実践の発信及びネットワークづくり

#### プレゼン交流会

- ・ 中学校区で、各学校の取組を発表
- ・ 取組のよさや、更なる工夫等について協議



## 金沢市の取組

### 実践の発信及びネットワークづくり

#### シンポジウム

- ・ 代表児童と有識者が登壇
- ・ 有識者が質問やアンケート、価値付けを行う



## 各学校の取組



## 各学校の取組



## 各学校の取組

### 現状

世界の子どもたちの命を守る

ワクチンが  
受けられない  
↓  
世界で20秒に一人  
亡くなっている



自分たちの命を守る

元日の地震  
↓  
どこに行けばよい？  
何を持っていけば  
よい？



## 各学校の取組

### 取組の内容

世界の子どもたちの命を守る



## 各学校の取組

### 工夫点

世界の子どもたちの命を守る

- ・全校児童に参加してもらう
- ・回収箱作り
- ・回収目的についてのポスター作り



## 各学校の取組

### 工夫点

世界の子どもたちの命を守る

- ・地域の方々にも参加してもらう



### 各学校の取組



### 各学校の取組

**結果** 世界の子どもたちの命を守る

- ・約34000個
- ・70kg

↓

14人もの命が救える

### 各学校の取組

**取組の内容** 自分たちの命を守る

- ・安全マップの作成  
避難場所、子ども110番の家
- ・緊急持ち出し袋についてのポスター作成

### 各学校の取組

**安全マップ工夫点** 自分たちの命を守る

- ・だれでも分かるように写真をはる





## 各学校の取組

### 金沢市立高岡中学校2年生

「市民と観光客、双方の幸せを実現するまち金沢」

金沢未来シナリオ「古くは新しく心地よいまち」



## 各学校の取組

### 金沢ふるさと学習の3年間の流れ

1年 金沢の伝統工芸を調べる

2年 金沢のまちの魅力について知る

3年 修学旅行で他県のまちづくりからヒントを得る

金沢未来シナリオの「古くは新しく、心地よいまち」を実現する方法を提案する



## 各学校の取組

### 金沢自主プランの目的

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業 テーマ

「責任ある観光」により市民と観光客、双方の「しあわせ」を実現するまち金沢

観光客のしあわせ：観光パンフレット作成→金沢でしあわせな旅行

市民のしあわせ：金沢を守る・発展させる「考え」も掲載



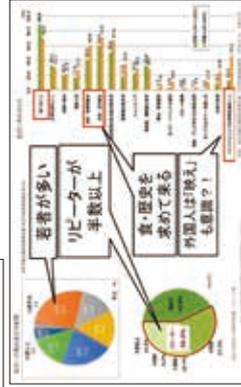
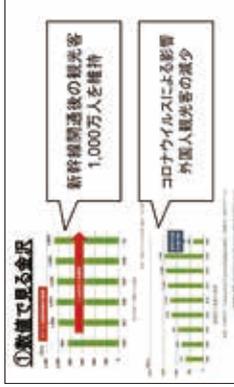
## 各学校の取組

### 金沢自主プランの学習の流れ

- ①観光地としての金沢をデータ分析
- ②金沢の観光産業に関わるゲストを呼び、金沢について学習
- ③旅行代理店の方から観光パンフレットの作成について学習
- ④ターゲット・コンセプト・プランを決める
- ⑤実際に自分たちのプランを実行する(現地調査)
- ⑥パンフレットを作成



## 各学校の取組



## 各学校の取組

### ②「ほんもの」を未来へ新しいでいまち金沢 講師: H さん

#### 金沢のまちの特徴

- ・百万石の城下町やまち 자체가昔からあまり変わっていない
- ・都市開発をしている
- ・伝統工芸が受け継がれている
- ・21世紀美術館や交通網の整備
- ・もてなしドームなどを新しくしている
- ・市民と協力をした旅行プランを立てていき、Win-Winの関係を築いている

## 各学校の取組

### ③観光パンフレット作成にあたり 講師: K さん

#### ターゲットとコンセプトを決める

- ・ターゲットを明確にする (どんな人に向けて魅力を発信するか)
- ・コンセプトにこだわりをもつ
- 旅行プラン作りで大切なこと**
- ・移動手段をターゲットに合わせる
- ・現地で調査する
- ・ターゲットやコンセプトに合う色や写真を使う



## 各学校の取組

### ④ターゲット・コンセプト・プラン決め

#### ターゲット(例)

- ・10～20代の初めて金沢に来る若者
- ・県外の建築に興味のある高校生
- ・和の文化が好きな外国人 など

#### コンセプト(例)

- ・金沢へ行くならここは絶対はずせないbest4
- ・インスタ映える歴史ある食や建物!!
- ・親と子供が一緒に楽しめる、金沢のまち並みと体験巡り など



## 各学校の取組

**⑤当日見てきたもの**

**実景の観光地**

- ・石川西郷村本陣
- ・津波津
- ・北江町市場
- ・長野武家屋敷
- ・ひがし原屋敷

**人気土産物の種類**

- ・文旦団扇
- ・もろこ
- ・餅
- ・餅のアイス
- ・カレーライス
- ・ケーキ



### 当日の様子

- ・歴史的高層からの美しさ
- ・国内外の観光客がたくさんいた
- ・新しい香りの魅力
- ・ゴミがたぐくみ落ちていた
- ・道が狭かった
- ・道案内する人がほぼいなかった

## 各学校の取組



**パンフレットの作成**

**あんどろ**

**ANAZAWA**

写真で金沢の良さを表現し、外国人に向けて英語で表記

日本らしさを演出される体験

客先に馴染る見学地

新しい魅力の発信

基本情報も更新が重要!

## 各学校の取組

### パンフレットの展示会をして

- ・金沢には自分はまだ知らないところがあった  
→PRして広めていく
- ・金沢には観光客にまだまだ知られていないところも多い  
→今ある場所もPR
- ・観光客が金沢により魅力を感じられるように...  
金沢の良さである**歴史的なまちなみ**を残す+新しいものを加えて改善し続ける
- ・外国人観光客に向けて色々な**外国語**の看板を増やしたりするのが大事
- ・観光客へのポイ捨て防止やマナーの呼びかけが大事



## 各学校の取組

### 「市民と観光客、双方の「しあわせ」を実現するまち金沢」についての意見

- ・双方の幸せは難しいと思った。だから、限りなく近いものを目指したい。そのために**双方がもう一方を思いやる気持ち**が大切だ。
- ・ゴミが多いという問題が多かった。**観光客はゴミを捨てない**ことを意識して**市民は地域のボランティア活動に参加**して**双方が幸せになる行動**をしていくべき。
- ・外国人観光客のために**英語表記の看板やメニューを増やして**素やすいまちにすることが必要だ。



## 各学校の取組

### 3年生の金沢ふるさと学習で考えたいこと

金沢にずっと住み続けてもらえるようなまちにするために必要なこと。  
金沢に住みたくなるようなまちにするために必要なこと。

### 古くて新しく心地よいまちにするために

金沢の観光地や伝統をみんなで見守っていきつつ、金沢がより便利なまちになっ  
ていくために治安や生活環境を整えていくことが必要だ。  
また、交通機関の整備などみんなが金沢を良くしていくために考えていくことが  
必要だ。

## 今後に向けて

### 実践の発信及びネットワークづくり

SDGs子どもフォーラム in Kanazawa

- 学校や校種を超えた交流により、価値感や考え方の見直し
- 有識者の話を聞き、持続可能な社会の担い手としての意識が向上
- 外部からの評価により、さらなる探究活動への意欲が向上
- △学校の独自性の低下
- △参加する児童生徒の制限



## 今後に向けて

### 実践の発信及びネットワークづくり

中学校区別「創造」会議

- ・校区の実情に応じた発信の場
- ・より児童生徒の主体的な取組に



## 今後に向けて

### 実践の発信及びネットワークづくり

1人1台端末での配信

- ・各学校の取組を知り、新しい学びや発見に



# 愛知県ユネスコスクール指導者研修会 実践事例発表



ご静聴ありがとうございました

## ユネスコスクール指導者研修会

愛知教育大学附属高等学校

教諭：山本真生

## 実践報告 サステイナブルな部の取り組み紹介



## 学校の概況

- ・全国に先駆けの30人学級を実施  
一学年4クラス30人学級の少人数指導
- ・大学と連携した探究活動  
「附高ゼミ」興味関心に合わせて、  
10人から20人のグループに分かれ探究活動

## 愛教大SEHプロジェクト



## サステイナブルとは？

R2年度 英語部、科学部が合併して成立

→ SDGsを達成するために地域や学校の中で  
高校生ならではの視点でできることを考え  
日々取り組んでいます

⇒ 生徒の興味関心を中心に探究的な活動を実施

## 活動例 カキツバタ部門

カキツバタについての啓発事業

愛知県の花であり、本校近くに貴重な自生地が存在

⇒令和元年度に「あいちの未来クリエイト部」に参加

教材の作成や情報発信を行う



## 活動例 畑部門

学校の活用されていない花壇を畑として利用

⇒落ち葉（糸状菌）を利用した不耕起農業の実験

⇒生ゴミの堆肥化の探究



## 活動例 竹林部門

学校裏の放置竹林の整備、竹材の活用方法を探究

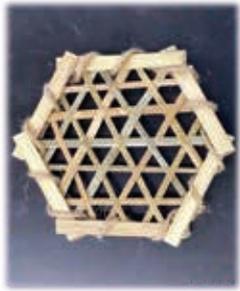


## 活動例 竹林部門

竹材の活用方法を探究



竹ベンチ



竹細工

## 活動例 竹林部門



竹紙の製作

⇒製作に最適な素材を

若竹、成長した竹、竹くずから比較



## 活動例 竹林部門



竹葉茶、アロマの開発

⇒安全性を担保する

難しさ

## 活動例 竹林部門→水質部門

竹林部門の広がり

竹材の利用方法の探究

→ 竹炭を製作

→ 水質浄化の効果があることを知り

水質浄化装置の実験へ



## 活動成果の発表

文化祭での発表講堂発表（9月）



校内発表で掲示したポスター



## 活動成果の外部発表

SDGs将来世代創造フォーラム



SDGs AICHI EXPO



## 活動成果の外部発表

刈谷市地域連携フォーラム2024（2月）



## 大学の活動への参加

愛知教育大学子どもキャンパスプロジェクト

大学のイベント、地域の子どもたちが竹林の整備、  
竹材の加工を体験できるイベントを企画・実施



## 大学の活動への参加

刈谷ハイウェイオアシスにて

竹を使った地域の遊びを体験できるコーナーを運営



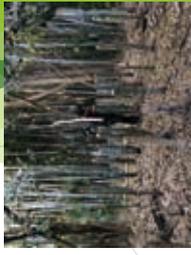
## 竹林整備プロジェクトと学び

開始：令和2年度

「学校内に持続可能なサイクルを作る」ことを目指す

- 校舎裏の鬱蒼とした放置竹林を発見  
身近で再生可能なリソースと見定める
- 当初は、3,4人の男子生徒たちの地道な整備

⇒竹炭化や竹細工（竹ベンチ）利用法を模索



## 竹林整備プロジェクトと学び

周囲を巻き込む

愛教大の実習園の方の協力

⇒ 切り出した竹を竹チップに利用

竹チップの活用方法の探究へ

畑部門：畑に使用

竹部門：バンブーロードに敷く

→ カブトムシが増えた？



## 竹林整備プロジェクトと学び

愛教大の子どもキャンペーンプロジェクト

⇒ 放置竹林整備について子どもにも伝える機会

当初はプログラム進行、注意喚起を教員が実施

- 回を重ね企画の準備・運営をほとんど生徒の手に  
当日判断で、予定の変更、その通知なども  
⇒ プロジェクトの参加を通じた成長

## 高校部活動としての限界と展望

竹林整備をしていくなかで様々な課題が発生  
伐採した大量の竹をどう処理するか  
自分たちでは処理できない不法投棄物  
不法侵入者によるタケノコ掘り

大学や地域との連携をしつつ

課題解決へ取り組み



## 高校部活動としての限界と展望

高校の部活動として、  
今ここ（附属高校）にいる自分たちだからこそ  
可能な活動という「ストーリー」を重視

高校、大学、当該地域にとって価値と物語のある  
持続可能で美しい竹林維持に向けた活動を目指す



# 嵯峨野高校のESD実践

未来をつくる小さな行動

## 自己紹介



外国語(英語)教諭 : 英語で教育イベントやっています。

英語科主任  
教育推進部 副部長 グローバル教育担当  
ユネスコスクール関係 担当

Think Globally, Act Locally  
Putting yourself in someone else's shoes

## 建学の精神「和敬静寂」

**和敬**

和をもって  
互いに敬うこと

**自彊**

自ら努めて  
励むこと

**飛翔**

新たな世界に  
飛び立つこと



## 学科・コースについて

コース設定

1年

2年

3年

京都  
こすもす科

普通科

専修

必修

自然科学系統(理系)3年間一貫の理数教育

文理共通  
カリキュラム

自然科学系統(理系)

人間科学系統(文系)

文理共通カリキュラム  
京都こすもす科必修コース  
に準じた教育内容

自然科学コース(理系)

人間科学コース(文系)



# COSMOS

秩序と調和をもつ宇宙・世界



# 「ほんまもん」の学びを加速する ACCEL

アクセセル

**Agency**

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、粘り強く行動する力

**Collaboration**

他者を理解し、協働する力

**Creativity**

新たな価値を生み出す創造力

**Expression**

自らの考えを表現・発信する力

**Logical thinking**

論理的に思考する力



# 嵯峨野高校の「ほんまもん」の学び

授業

ラボ活動

国際交流

学校行事  
部活動

幅広い知識と深く思考するための論理的思考力育成のために  
**ほんまもん(本物)と出会う**

- ▶ 専門家によるレクチャーを聞く
- ▶ 体系化された知識の獲得
- ▶ エビデンスに基づき論理的に組み立てられた主張

- 現地に行く
- ▶ 自らの五感で事実を確認する。



### 「ほんまもん」の学びは授業から



### サイエンスレクチャー



### 京都府主催 京都の高校生と学ぶ気候変動学習プログラム



## サマナーセミナー

令和7年度

English Immersion Day 2025  
平安時代体験～源氏香・薫物づくり～

本と交わる夏休み  
人生を豊かにする文学入門

法学ワールドワーク

大阪「キタ」ワールドワーク

数学オリンピックチャレンジ講座

ホームページ作成セミナー

京都大学 自然科学(化学)フィールドワーク

京都大学 自然科学(物理)フィールドワーク

京都工芸繊維大学 ショウジョウバエ

遺伝資源センターフィールドワーク

京都養用植物園フィールドワーク

大阪大学 自然科学フィールドワーク

東京・つくばサイエンスツアー

社会と芸術の関わりを知るフィールドワーク  
卒業生講話



## 嵯峨野高校の「ほんまもん」の学び

ラボ活動

学校行事  
部活動

授業

国際交流

## 探究学習 x SDGs ≡ ESD





## スーパーサイエンスラボ

京都こすもす科専修コース **3年かけて深める理数の研究活動**

- 1年次 **スーパーサイエンスラボI (1単位)**  
文献調査や実験デザインの方法、レポートの書き方、研究倫理等について学習ラボ選択および課題設定
- 2年次 **スーパーサイエンスラボII (2単位)**  
少人数の研究集団に分かれて研究みやびサイエンスガーデン：府内合同発表会に全員参加  
探究成果発表会：全員が校内でポスター発表
- 3年次 **スーパーサイエンスラボIII (1単位)**  
みやびサイエンスフェスタ：代表生徒が府内合同発表会に参加  
Sagano Global Forum：全員が校内で口頭発表論文提出：全員が論文を執筆

分野ごとにラボに分かれて研究します

物理ラボ 化学ラボ 生物ラボ 地学ラボ 数学ラボ 校有林調査ラボ

## 京・平安文化論ラボ



## 多様な価値観と出会う。

Diversityを理解し、Tolerance, Empathyが実践できる

グローバルシチズンとなる。

## 国際交流



## アメリカ・フロリダ研修



## 日韓高校生グローバル公民権プロジェクト サマーキャンプ



## Sagano Global Forum

探究活動の成果を英語で発表し、聴衆との対話を通して探究をさらに深めるためのアイデアを得る。

また、探究活動を通じて身につけたスキルを、今後の人生にどのように活かせるかについて英語で表現する。

## 嵯峨野高校の「ほんまもん」の学び



## とこのは祭 (文化祭・体育祭)



## ほんまものお茶会をつくる



## 「ほんまもん」の学びを加速する **ACCEL**

アクセセル

**Agency**

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、粘り強く行動する力

**Collaboration**

他者を理解し、協働する力

**Creativity**

新たな価値を生み出す創造力

**Expression**

自らの考えを表現・発信する力

**Logical thinking**

論理的に思考する力



## ユネスコ憲章 前文

この憲章の当事国政府は、この国民に代わって次のとおり宣言する。

**戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。**

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信の為に、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとすること。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないだろうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず。

2025年8月6日  
広島平和記念式典で地元の小学生が述べた「平和への誓い」の言葉から抜粋





国立大学法人  
**愛知教育大学**  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION